

あたっては、地盤条件を十分考慮した上で布設することが重要である。

以上のように、今回の管路被害は阪神・淡路大震災に比べ少なかった。一方、穴水町の導水管破損や輪島市門前町の主要な送配水管破損により多くの戸数が断水するなど、基幹管路の耐震化についても、その重要性が再認識された。

今後も、水道ビジョン（平成16年6月）、水道の耐震化計画策定指針（案）（平成9年5月）、（社）日本水道協会「水道施設耐震工法指針・解説」（平成9年3月）に示された管路の地震対策を基本とし、管路更新を進めることが重要であるといえる。